

【HACCP制度化（義務化）を踏まえて「世界に通用するHACCP」の最新動向】

～米国食品安全強化法(FSMA)の施行とその対応及び最新動向～

日時

平成30年5月16日（水）
14時00分～17時30分
（受付時間13時30分～）

会場

三和建设株式会社1階ホール
大阪市淀川区木川西2-2-5

定員

100名（先着順）

講演費

賛助会員 無料
団体・個人会員 4,500円
非会員 5,000円
*当日にお支払下さい

お申込

お申込はFAXまたはホームページから
<https://www.workshop-haccp.org/>

講師

杉浦嘉彦氏

（株）鶏卵肉情報センター
代表取締役 社長
（月刊HACCP発行人）



阪急十三駅または地下鉄西中島南方下車、淀川通りを徒歩約10分前後 大阪市営バス停 木川西二丁目前

今回は、HACCP制度化（義務化）を踏まえて、食品安全で世界をリードする米国食品安全強化法の最新動向とその対応事例を知る事で、食品製造工場等の効果的なHACCPの活用方法と、これからHACCP導入を検討している企業にとって、HACCPの導入のメリットを実感して、自社製造工程等のリスクを軽減し、食品製造工場の衛生管理に寄与する事を念頭に企画いたしました。会員の方々並びに食品関連企業の皆様のご参加をお待ちいたしております。

プログラム

近畿HCCP実践研究会理事長挨拶 14:00～14:30
～日本のHACCP 制度化の動き～

米国FSMAの施行とその対応及び最新動向
杉浦 嘉彦氏 14:35～16:00

交流会 16:15-17:15

講演後にワンコイン交流会を当日受け付けで予定しています。理事らが皆様をお迎えいたします
交流会費用として受付時に500円を申し受けます

FAX 06-6300-1781 特定非営利法人 近畿HACCP実践研究会 事務局行

所属・勤務先	区分	会員の有無（個人・団体・賛助・無）
受講者名		E-mail
		E-mail
ご住所	〒	
連絡先	☎	FAX

またはinfo@workshop-haccp.orgまで